

1) 例にならっての意味を作業を通して理解させること。
2) まず、声を出して物の数を数える。
3) 絵とタイルを線で一対一対応させ、対応したタイルを(黄
色)で塗る。タイルは矢印通り必ず右から。
4) 当てはまる数字をタイルで囲む。

a) 数唱による具体物の計数→半記号(タイル)→記号(数字)
の対応手続きによる三者関係の構築。
b) 集合数と順序数の成立イメージ。

Date /
Note



れいにならってやってみよう。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10